



真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

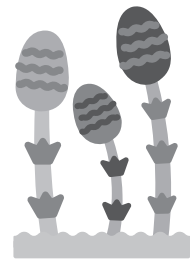
「地域未来投資促進法」活用による古河市づくりについて

問 これからの古河市を大きく進めていく地域未来投資促進法をフルに活用し、確かな財源の下に、市民へさまざまなサービスを提供しなければならない。①給食費無償化に対する市長の考え方について②市には食品企業がたくさんあるが、観光の目玉にもなる食のテーマパークについて③市内焼却場の老朽化に伴う古河地区のごみ焼却の解決

について④古河駅前（西口）の再開発について、マンションや市役所の出先機関、スーパーや商業施設の誘致等を取り込んで進めていかなければならないと考えるが、市長の見解について。以上を伺う。

答（市長） 地域未来投資促進法は地域の特性を活用した事業を行い、地域経済を引き上げ、企業を支援する制度である。今後同法を活用し、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきたい。①給食費無償化については、財源の問題だけでなく、支援が必要な対象者や、一時的または継続的な対応が必要なのか等、検討すべき課題が多々ある。学校給食審議会等、さまざまな機会を生かし、検討していき

たい。②市の新たなにぎわいを創出するものとして期待できる。官民連携を視野に、新たな産業交流施設の創出に取り組んでいきたい。③古河地区のさしま環境管理事務組合への編入に向けた事務協議を進めている。④古河駅前ならでは土地の高度利用を図った再開発は、定住人口の増加や駅周辺の整備にもつながり、有効な手段である。あらゆる可能性を探りながら、駅前ににぎわい創出に向けて取り組んでいきたい。



古河市公明党



(質問者：高橋 秀彰 議員)

包摂社会の実現について

問 家事や家族の介護などを日常的に行い、負担を強いられているヤングケアラーや、生活に困窮している世帯の子どもなど、支援を必要としている子どもに対し、どのような支援体制で臨んでいくのか伺う。

答（市長） 令和5年度から教員や福祉専門職への研修、コーディネーターの配置、官民協働

による支援のネットワーク形成の3つの取り組みを実施する。

保育ICTシステム導入について

問 事務負担を軽減し、保育の質の向上を図る保育ICTシステムの内容および保育所のインターネット環境の整備等について伺う。

答（市長） 現在の業務をシステム化し、業務の効率化と保護者の利便性の向上を図りたい。上辺見保育所で導入効果を検証し、他の公立保育所でも国の補助を活用し導入を推進していく。

妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する伴走型支援体制等について

問 妊娠から出産、子育てまでを切れ目なく支援する伴走型支援体制について、支援体制の現状および新たな支援体制等について伺う。

答（市長） 伴走型相談支援は、届出後の面談を必須とし、専門職がより身近できめ細やかな対応をしている。令和5年度は電子母子手帳の導入を計画し、支援を効果的に実施していきたい。

《その他の質問》

- ・市民協働「地域 みんなで古河（まち）をつくる」
- ・教育文化「人が育ち文化の息づく古河（まち）をつくる」

